

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年11月27日(日) 19:00~20:00

会場

桃生総合支所 2階 視聴覚室

参加者数

約50名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
蛇田地区の新市街地は、誰でも手に入れることができるのか。	南浜地区や大街道地区の非可住地域、工業エリアとなる方々の移転先として考えている。
防災集団移転事業は、どこへでも移転できるのか。	防災集団移転促進事業は5戸以上がまとまれば移転できる。移転先は、制度上、どこでも可。
蛇田地区の新市街地の坪単価はいくら。また、完成の時期は。	防災集団移転促進事業は、原則、賃貸だが、購入も検討している。価格はインフラ整備や用地買収の価格など造成費を総合的に検討し、今後、単価を示していきたい。蛇田地区の場合、地盤がある程度良好なので、盛土やインフラ整備などで3年間の平成25年度末で考えている。
高台避難場所や避難道路の整備も具体的構想を持って取り組んでほしい。	避難道路の整備は最重要課題なので、国・県に引き続き要望していく。

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
生活再建支援金の加算金の申請期限は。	生活再建支援金について、法律で期限が加算金は37か月と規定されているが、公営住宅や土地区画整理など、安定して落ち着ける場所が決まるまで相当の時間がかかるので国・県に対して延長を要望している。
災害公営住宅について、入居対象は。また、いつ頃、どこに整備するのか。	災害公営住宅は3つの手法を考えている。①市が直営で建設、②民間で建設し、市が借り上げる、③URなどで建設し市が買取る。国の予算を待って着手に向けた準備中である。
災害公営住宅への入居希望者が多いと競争率が高くなり、入れない人も出てくるのではないか。	本来、災害公営住宅というものは被災者にインタビュー調査をして戸数を決めていくもの。県において概数で3000戸を予定しているが、被災者に対してのインタビュー調査を実施し、戸数を増やしていく。

質問・意見	回答
災害公営住宅の応募はいつ頃から始まるか。	これから設定する。建設は、集合住宅は半年以上、鉄筋コンクリートは1年以上を要するので、随時公表する。
災害公営住宅は地域に関係なく応募できるのか。	インタビュー調査後、用地を民間から買い取って建設することになるので、どの場所の公営住宅を望むのかを聞き取りする。

未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
学校の統廃合を進めるべきだと思うがいかがか。	意見交換を行い、統廃合だけに限らず、新しい土地を求め学校を建設するなどの様々な意見をいただいている。今後、さらに適正規模・適正配置を含め検討するとともに、地域の意見もいただきたいと考えている。